

## 成田市教育委員会会議定例会会議録【会議概要】

平成25年4月成田市教育委員会会議：定例会

期日 平成25年4月25日（木） 開会：午後2時00分 閉会：午後4時40分

会場 成田市役所5階503会議室

### 出席委員

委員長	秋山皓一	委員長職務代理者	山口恵子
委員	小川新太郎	委員	高木久美子
教育長	関川義雄		

### 出席職員

教育長	関川義雄（再掲）		
教育総務部長	深山芳文	生涯学習部長	諏訪峰雄
教育総務課長	伊藤和信	学校施設課長	藤崎宏行
学務課長	柳鶴暁	教育指導課長	山下隆文
学校給食センター所長	藤崎吉宣	生涯学習課長	秋山雅和
生涯スポーツ課長	大矢知良	公民館長	木川義夫
図書館長	大木孝男	生涯学習課課長補佐	木内悦夫
教育総務課課長補佐(書記)	宮崎由紀男		

### 【会議概要】

#### 1. 委員長開会宣言

#### 2. 教育長報告

#### 主催事業

##### ○4月1日 教育長就任式について

当日、臨時教育委員会会議の結果を受けて、6階大会議室で幹部職員を集めて就任式を行った。目的意識をしっかりと持って、職員の力を合わせ、一つ一つ丁寧に対応することを基本に職務を誠実に行っていきたい、と話をした。

##### ○4月5日 公津の杜中学校開校式について

私が教育総務部長時代に設計され、工事が開始されたため、どのような学校が出来上がるか、大変興味深かった。実際に出来上がった校舎を見て、他の既存の学校とのあまりの違いに、驚くと同時に、新しく始まる学校に対する夢と期待が膨らみ、ここで学ぶ子ども達がすすくと

育ち、やがてこの国やこの街をさらに住みよく発展させる人間に成長してほしいと思った。式典では代表生徒の「一生懸命がカッコイイ」の言葉が印象的で、こんな風に言える子が本当にカッコイイと、どの生徒も思えるようになれば、と感じた。初代校長の五十嵐先生は、職員が本当によくやってくれている、それは驚くほどの一生懸命さだ、と述べておられた。今後の学校の発展に期待したい。

#### ○4月8日 東小学校入学式について

入学児童は1名の女子。昨年は入学者がなく、2年ぶりの入学式で、在校生、特に3年生が嬉しそうにしていたのが印象的であった。入学した子は大変気の利いた子で、指示しなくても周りの雰囲気を読んで、起立したり、着席したりできた。礼の仕方も上手で、これが本当に6歳の子かと思えるほど、しっかりしていた。全校でわずか14名の学校。和気あいあいの雰囲気の中で、温かな思いが込められた良い入学式だった。

#### ○4月9日 公津の杜中入学式について

開校式に引き続き、公津の杜中の入学式に出席した。入学者は178名、全校で497名のスタートとなった。初めて公津の杜中の新しい制服を着た生徒を見た。在校生と並んでみると、時代の変化、センスの違いを感じないではいられない。ほとんどの生徒が大きめの制服を着ていて、フィット感に乏しいが、なかなか良く似合っていたのではないかと思う。公津の杜中の開校については、登下校時に公津の杜小の子どもと互いに交差する箇所があり、特に自転車通学の生徒と、徒歩通学の児童のすれ違いに危険性を訴えている声もあったと聞いている。歩道があるとはいえ、今後も注意して通学するよう、両校に働きかけていきたい。

#### ○4月10日 平成25年度施策説明会（校長部門）について

当日朝の新聞にあった記事「我孫子市立白山中学校の内申書記載ミス」の例をあげ、この件の学校責任者であった校長が、本年度は我孫子市教育委員会の学校教育課長になったことで、内申書記載ミスの責任は誰が取るのか、という話題から、校長、市教委、県教委、それぞれの立場で今回はどのように責任を取るべきだったのか、私なりの考えを述べさせてもらった。特に、校長はある意味、責任を取るのが仕事、今回8人の新任校長が誕生したが、校長は学校で起きたこと、全てにおいて責任を取る覚悟を持ってほしい。その覚悟がなければ校長などやらないほうがいい、とも述べた。少し強く言いすぎたかもしれないが、最初はそういう気持でスタートしてほしかった。それぐらい緊張して学校経営にあたってほしいと願っている。

#### ○4月11日 平成25年度施策説明会（教頭・事務職員部門）について

校長部門に引き続き実施。ここでは、教育長として、前日と同じく、当日の新聞の記事を基に話した。一つは、大阪の地方裁判所の若い裁判官が盗撮をした件で、裁判官を罷免されたという話をした。どんなに優秀な人でも、人間の三慾と言われる、食欲、性欲、睡眠欲の三つは抑えきれないものだ、ということを感じてほしい。しかし、性欲については、理性でそれを抑えることもできる。働きがいのある職場であればなおさらである。もう一点は、NATS自作のフォーミュラカーF4のレース、第2戦目で優勝という記事について話をした。創造力、

制作技術、根気と努力を支えたのは、これが好きだという思いと情熱、何よりもチームとしての一体感があって初めてなし得るもので、これは学校経営と似ているという話。最後に、学校の職員は、一人ひとりが皆大事な役目を負っていて、誰か一人でも欠けてはいけない。特に今大切なことは、スタートを切ったばかりの一人ひとりの職員にしっかり目を向けてほしい、特に新規採用者、初めての転任者等はよく見てほしい。学校は人で動くのだから。という話をした。

○4月23日 平成25年度家庭教育学級運営委員会議について

生涯学習課事業。年度初めにあたり、各小中学校、公立私立幼稚園、保育園併せて69学級が開設される。委託事業として家庭教育学級を行うに際し、どのように展開していくか説明する会議。各校主事、運営委員等が参加。駐車場がいっぱいになってしまうほどの人数で、時期によって、市役所開催は難しいという印象だった。私からは、たまたま当日が「子ども読書の日」だったということもあり、担当から大きなポスターを頂いたので、読み聞かせの話をして、子どもの小さい時に読み聞かせをすることは個々の成長にとっても大事だということ、また、家庭教育学級を通じて親同士が互いに交流をしながら良い子育てを学べるのが何よりも楽しいのではないかと。きっと忙しい一年になると思うが、せっかくの機会なので、これを良いきっかけにして、子育てを上手に楽しんでみては。と言うような、話をさせてもらった。

○4月25日 ふれあいコンサートについて

本日、ロビーにて開催。S I E S T Aというバイオリンとアコーディオンの演奏グループで、1992年にパリで結成された。8曲の演奏をしてくれた。アコーディオンはボタン式のもので、日本では珍しいもの。短い時間だったが素晴らしい演奏に魅了された。

## その他

○4月1日 平成25年度新規採用職員入所式について

新入職員入所式。新規採用者は60名。内訳は、一般行政職上級22名、初級3名、技術職土木5名、建築2名、司書上級1名、保育士11名、栄養士、言語聴覚士各1名、消防士14名。それぞれに辞令交付。皆、緊張してこの日を迎えている様子が感じられた。気になったのは、「気をつけ」の姿勢ができない職員が多いこと。両足のかかとかつかない。手の先、指が伸びない。返事の声が小さい。この辺りは同じ新規採用でも、学校職員とは大きな違いだと感じた。

○4月4日 群青会展について

各市町教育委員会へ挨拶に回っている途中、佐倉市美術館で開催されていた群青会展を参観。水彩画による絵画クラブで、成田市の会員は19名。毎月2回（1回5時間）、新美術協会の菖蒲みえこ氏の指導を受けている。会員の一人堀川元議員の招待。主催は菖蒲みえこ氏。

○4月6日 聖徳大学附属幼稚園入園式について

川並園長が式の中で、幼稚園は子どもだけでなく親も子育てを通じて成長する機会と、とらえるよう話しておられた。これは毎年お話しされているとのことだが、小中学校ではあまり聞

かれないお話で、親も園長先生から見ればまだまだ子ども。親としてしっかり勉強しなさい。とされているようであった。

#### ○4月6日 平成25年度成田市スポーツ推進員連絡協議会総会について

議事内容は昨年度の事業報告と本年度の事業計画並びに前年度活動費収支報告と今年度活動費予算等について、異議なく承認された。

#### ○4月9日 平成25年度市町村教育委員会教育長会議について

千葉県庁で県内全市町村教育長を集めて開催。千葉県の教育施策について説明を受けた。冒頭で瀧本県教育長から挨拶があり、県教委としての基本的な考え方として、全ては子ども達のためにという視点で、上から目線ではなく、横のつながりをしっかりさせていきたいというお話があった。また、国政と文科省の動向として、教育再生実行会議と中教審の動向に注目していきたいという話があり、さらに、今年度は千葉県教育振興基本計画、5カ年計画の4年目にあたり、計画目標の達成と次期計画に向けて準備していきたいと意欲を示された。

具体的な県の施策として、まず、学力の向上を取り上げ、全国学力状況調査の結果、特定の市町村、特定の学校が毎回平均を下回っていることから、底上げを図る目的で、補充学習等行う補習等指導員派遣事業を行っていくとのことであった。特にこの事業の検証協力校として15校を上げていた。いずれにしてもデータに基づく学力向上策を行う必要があることを強調されていた。

その他、道徳教育、特別支援教育の充実、いじめ防止策等生徒指導上の取り組みとして、スクールカウンセラーの小学校派遣（2校）、中学校での時間拡充、警察との連携強化を行っていくとのことであった。また、学校施設の耐震化では47県中40位ということから、耐震化を加速させていきたいし、長寿命化についても国の補助事業になっているので積極的な取り組みをしたいとの話であった。最後に、綱紀の粛正について、不祥事の根絶を図るため、早期発見、早期対応が大切である。また、調査書の記入ミスに触れ、学校がシステムとしてチェック機能を入れていくことを強く述べられていた。

この後、各課から重点施策の事業概要説明があり、最後に、県民生活課長から青少年ネット被害防止対策事業の説明があったが、ネット被害の実情について、実際の画像を見ながら話されたため、印象が強烈で、大人の知らないところで子どもが大変な状況になっていることも良くわかった。今後市内の学校等で要望があれば研修会を開いてくれるとの話だったので、是非利用していきたいと思った。

#### ○4月12日 第1回印教連常任委員会について

佐倉市の合同庁舎で開催。4月23日に開催された印教連定期総会に向けて、総会内容、運営の方法、役割分担案等を決めた。また印教連事務局分担等について確認した。ご承知のように、今年度は会長、事務局も成田市となった。任期は1年である。

#### ○4月12日 第1回教育長会議について

印教連常任委員会に引き続き、印旛地区教育長会議を同じ場所で開催。北総教育事務所管理

課長から今年度北総教育事務所の概要、並びに昨年度末人事の結果について話があった。その後、議事に入り、新規役員の選出を行った。昨年度末で本市を含め、佐倉市、四街道市、酒々井町、栄町の5市町の教育長が代ったこと、また、昨年度途中で、印西市、富里市も教育長の交代があったため、9市町中、1年以上の教育長経験者は、白井市の米山教育長と八街市の川島教育長のお二人だけとなってしまったため、役員選出が急務であった。結果、教育長会の会長は白井市の米山一幸氏、副会長は町からということで、栄町の葉山幸雄氏が選出された。なお、事務局は引き続き成田市が引き受けることとなった。

#### ○4月13日 女子サッカーフェスティバルについて

中台球技場で開催。市体育協会とサッカー協会主催で、小学生から大学生までの女子サッカーチーム、8チームが参加した。

開会式の挨拶では、20歳の時、骨肉腫で片足を切断しなければならなくなった女性が、手術後、義足を使って、陸上の走り幅跳びに挑戦し始め、北京、アテネ、ロンドンの3大会に出場し、次のリオデジャネイロでのメダル獲得を目指しているというニュース記事から、夢は願うだけでは叶わない。夢の実現に向けて日々の努力が大切、という話をした。試合は、LC成田対成田国際高校、成田北高対順天堂大の2試合を観戦した。順天堂大はさすがにレベルが高かったが、LC成田（中学生、小学生のチーム）も成田国際に0対0と健闘した。

#### ○4月13日・14日 成田太鼓祭について

13日午後から、成田太鼓祭り、千年夜舞台を見学。大塚太鼓かずら会、和太鼓風ジュニア、相洋高校和太鼓部、それにプロの太鼓チームであるGOCOO（ゴクー）、英哲風雲の会の5チームが演奏した。小学生から大人まで、熱気あふれる演奏に魅了された。

#### ○4月18日 中郷地区跡地利用報告について

市長、企画政策部長同席で中郷地区からの中郷小学校跡地利用計画検討報告書（最終報告）を受け取った。これによれば、中郷地区は、地区に公共施設がなくなってしまうと、地域も衰退してしまうという危機感から、とにかく、跡地は公共施設であってほしい。という考え方で、県外8施設、県内7施設内市内2施設を視察し検討してきた。結果、子育て支援、地域ネットワーク活動拠点等の公共施設を提案、併せて要望もまとめてこられた。

#### ○4月19日 平成25年度千葉県都市教育長協議会総会について

千葉市のポートプラザホテルで開催。37市中、欠席は2市。内容は昨年度事業並びに決算報告、新年度事業並びに予算案の審議、そして役員の選出。役員は申し合わせ事項に従って、5事務所管内の輪番で行っていて3年任期、北総地区については、今年度から副会長、平成31年度からは会長を引き受けることになっている。

#### ○4月23日 平成25年度印教連定期総会について

本年度はこの総会で会長に秋山委員長が推薦され、お引き受けいただいた。先の教育再生実行会議で提言された「教育委員会制度」改革の問題など、教育委員会に関わる大きな問題もあることから、本年度は特に他の委員の皆様のご協力もお願いしたい。

《教育長報告に対する主な質疑等》

委員：成田小と小御門小の入学式に参加した。成田小は128名、小御門小は15名の新生であった。成田小は人数が多いためか呼名が行われなかったため、保護者も戸惑っている様子であった。小御門小は統合されるため最後の入学式であり、出席された方々も最後の入学式を強く意識されているようであった。

委員：大栄中と名木小の入学式に参加した。大栄中はとても落ち着いていて、返事も立派に出来ていた。これから子どもたちは安定して成長できると感じた。名木小は入学生が1名であった。

委員：吾妻中と高岡小の入学式に参加した。高岡小はとても古い学校であるが、地域の皆さんもとても元気が良く、長い歴史のある学校は学校自体が呼吸しているような、生きている感じがした。吾妻中も設備が古く、音響が式の途中で不具合があったりしたので、改善していただきたい。

委員：滑河小と久住中の入学式に参加した。滑河小では、渡邊校長が「挨拶ができる子」「掃除のできる子」「交通事故に気を付ける」の三つの目標を話をされた。久住中は、佐々木校長が四月から着任された。23名の入学生、全体で66名と小規模であっても、それに臆することなく頑張してほしいとの話があった。今回は、災害時の対応について、全員が揃っている所で説明があり、常日頃の用心、心構えが安全・安心につながるものと感じた。気になった点であるが、久住中のある先生が、式の最中、ヒールで音を立てて歩かれていた。厳粛な式の中であり、配慮すべきと感じた。

委員：大栄中のトイレがとても臭かったが、改善することはできないのか。

藤崎学校施設課長：学校からも要望をいただいているところであり、いろいろと原因はあるようで、現地調査をしたうえで、対応を考えていきたい。

委員：印教連の定期総会においても意見として述べたが、教育功労賞を退職する校長が貰っても意味がないと思う。学校を活性化するためには、若い人を認めてあげる場を作ることが大事なことだと思う。良い先生は教育委員会として推薦してあげれば良いと思う。また、西中では、自転車通学の子どもが多かったため、通学者の苦情も毎日寄せられていた。公津の杜中と分離したことで、自転車通学者の数も変わったと思うが、公津の杜中の自転車通学者の数を教えてほしい。

山下教育指導課長：現時点で、242人となっている。

委員：ふれあいコンサートであるが、今日も座りきれないほど多くの方に聞いていただいた。演奏される方も皆に聞いてほしいという強い思いが伝わってくる感じがした。演奏できる場を求めていることが伝わってきた。市民の方で、プロを目指しているような人や情熱を持った人を応援していくこともできるのではと思った。

秋山生涯学習課長：なるべく、いろいろな方に出演いただけるようにと考えている。これから育っていこうとしている若い人にチャンスを与える場にもしていきたいと思っている。

### 3. 議 事

#### (1) 議 案

(成田市教育委員会会議規則により非公開とする議決)

<これより非公開>

議案第1号 成田市学校評議員の委嘱について

《審議結果》

承 認

議案第2号 平成25年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の選出について

《審議結果》

承 認

議案第3号 平成25年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員会専門調査員の推薦について

《審議結果》

承 認

議案第4号 成田市学区審議会委員の委嘱について

《審議結果》

承 認

議案第5号 成田市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

《審議結果》

承 認

議案第6号 学校体育施設管理指導員の委嘱について

《審議結果》

承 認

議案第7号 成田市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について

《審議結果》

承 認

<非公開を解く>

議案第8号 成田市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部を改正するについて

【大木図書館長兼視聴覚サービスセンター所長 議案資料に基づき提案】

(要旨)

本案は移動図書館の廃止に伴い、関係規則を改正することを要旨とする。まず、移動図書館車車両「こぼと号」の現状について報告する。

「こぼと号」は、昭和62年に運行を開始し、26年間使用し、老朽化が著しくなっている。毎年、油漏れ修繕やリンク修繕などしながら運行しているのが現状である。

次に移動図書館の利用状況について、添付の資料、9ページ「成田市移動図書館・分館の動き」をご覧ください。「こぼと」号が運行開始した昭和62年には4コース17駐車場所で業務を行っていたが、公民館等の分館が整備していくに従い、平成6年度には3コース、1

2 駐車場所に、平成 17 年度には 2 コース 8 駐車場所へと運行コース、駐車場所を減少してきた。

現在の状況は、平成 22 年度からは、月に 2 度の運行は変わらないが、1 コース、長田、土屋、宗吾台及び公津の杜の 4 駐車場所での運行状況になっている。具体的な駐車場所としては、長田は「長田共同利用施設」、土屋は「土屋公園」、宗吾台は「さぎやま第一街区公園」、公津の杜は「公津の杜公園」の 4 か所である。

さらに、7 月 1 日には公津の杜分館が開館し、市内の図書館施設の整備が一段と進む。

以上のことから昭和 55 年から運行を開始し、昭和 59 年に図書館開館と共に図書館に移管された移動図書館業務は、図書館施設が自宅等の近くにない市民に図書の出しを行うという当初の目的を達成したことから、廃止することとし、「成田市立図書館の管理及び運営に関する規則」の一部を改正するものである。

なお、移動図書館の利用者については、ほぼ特定していることから、今年の夏から、移動図書館の現状を説明させていただき、利用者の方に、ほぼご理解いただいていると考えている。

また、8 ページの資料に県内の移動図書館の状況及び移動図書館保有自治体数の推移を資料として添えてある。下表では、平成 14 年度に移動図書館保有自治体数が 25 あったが、平成 22 年度までに柏市、印西市、白井市、野田市、八千代市、柏市、浦安市、鎌ヶ谷市、銚子市及び流山市の 10 市が廃止し、平成 24 年度現在は、本市を含め 15 市が運行している状況である。上表には移動図書館を保有、運行している市と図書館数と分館数を一覧にしている。

また、移動図書館の見直しについては、「平成 25 年度～27 年度の成田市行政改革推進計画」において「公津の杜分館の開館に併せて、見直しを行う」という方針を示している。

続いて、6 ページの新旧対照表をご覧ください。成田市立図書館利用カードの様式について、裏面に更新期間を記載しているが、利用者の手続きの緩和のため 3 年から 5 年へ変更する。その他条文上の文言を整理しようとするものである。

なお、移動図書館の廃止に伴い、第 4 条成田市教育委員会行政組織規則を一部改正し、「移動図書館に関すること」を削除するものである。

この規則は、平成 25 年 7 月 1 日から施行するものである。

#### 《議案第 8 号に対する主な質疑》

委員：移動図書館が廃止となること、図書利用カードが 3 年更新から 5 年更新と変更となること、またそれに合わせて文言の整理をするということによって理解してよろしいか。

大木図書館長：加えて、「図書館資料」と「図書資料」の定義を明確にするため文言を整理している。

委員：更新期間の延長は、市民サービスの観点からはとてもいいことだと思う。文言の整理で、「1か月」を「1月」と変更するのは、市として表記を統一するものか。

大木図書館長：条例・規則の改正に合わせて、順次改正しているところである。

委員：紙芝居が削除された理由は。

大木図書館長：当初は図書資料に紙芝居を含むとしていたが、現在の考え方としては、図書資料に紙芝居は当然含まれているという考え方であるので、あえて表記する必要がないという考え方となっている。今回は、図書館資料のうち、視聴覚資料を分けることとし、紙芝居の表記を削除したところである。

委員：図書利用カードの更新についてであるが、例えば小中学生は中学を卒業するまで利用できるカードにするという考え方はないのか。

大木図書館長：成田市は転出入が非常に多いこともあり、住所の変更も多いので5年程度が適当と考えている。

議長：議案第8号 成田市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部を改正するについて、を原案のとおり決する。

## (2) 報告事項

報告第1号 成田市青少年問題協議会委員の任命及び委嘱について

### 【秋山生涯学習課長 資料に基づき報告】

(要旨)

本案については、市長による任命及び委嘱となるため、報告事項とさせていただきます。今回、4月1日付けの人事異動により教育長、教育総務部長、市民生活部長が代わり、関川義雄教育長、深山芳文教育総務部長、藤崎祐司市民生活部長が平成25年4月1日付けで任命された。また、成田市校長会推薦の齊藤利明氏が3月31日付けで退職され、後任には、成田市校長会より吉田昌弘吾妻中学校校長が推薦され、委嘱されたので報告する。

なお、任期については、成田市青少年問題協議会設置条例第4条第2項の規定により、前任者の残任期間となり平成26年7月15日までとなる。

《報告第1号に対する主な質疑》

なし

報告第2号 成田市青少年相談員の委嘱について

【秋山生涯学習課長 資料に基づき報告】

(要旨)

平成25年3月31日をもって第17期の青少年相談員の任期が満了となった。千葉県青少年相談員設置要綱に基づき、第18期千葉県青少年相談員の委嘱がなされた。千葉県青少年相談員設置要綱によれば、知事が青少年相談員の委嘱を行うことになるが、市町村との緊密な連携のために市町村長も委嘱をするよう奨励すると定められていることから、同じ方に対し、成田市長名で134名の第18期成田市青少年相談員が委嘱されたことを報告する。任期は3年、平成28年3月31日までとなる。

《報告第2号に対する主な質疑》

委員：青少年相談員の活動内容はどのようなことか。

秋山生涯学習課長：大きな事業としては、5月のオールナイトハイク、2月の綱引き大会、その他子ども会まつり、青少年交流体験事業、POPラン大会など様々な事業にご協力をいただいている。

報告第3号 JR成田駅東口再開発ビル内の文化芸術施設運営方法について

【秋山生涯学習課長 資料に基づき報告】

(要旨)

再開発ビル内の文化芸術施設運営方法について検討した結果を報告する。運営方法については、①すべてを指定管理者に一括して任せる方法、②学芸部門を行政が直営し、それ以外の部分を指定管理者に任せる運営方法、③学芸部分を行政が直営し、それ以外を委託管理とする方法、④行政が直営する方法の4つの運営方策から比較検討した。①の全てを指定管理者に任せる方法については、一括して管理運営会社に全般を任せることが出来るメリットがあるものの、新規で建設され且つ行政単体が所有する施設では無いことから、運営にあたり、想定外の事例が発生し、指定管理者が判断・対応することが難しいケースが出て来ることが想定される。また、運営当初から指定管理者制度を導入してしまうと、「行政側に運営のノウハウが残らない」、

「指定管理者制度を導入しても、第三者委託は発生する」等の懸念もある。加えて、最大のデメリットと思われるのが、駅前再開発ビルが区分所有の物件であることから、管理規約の詳細、テナント等の出店業者を含めたメンバー構成、経費の負担割合等、運営形態が決まっていないことや、必要経費の積算根拠が定まっていないことから、当初から指定管理者に全てを任せることの難しさがある。次の②学芸部門を行政直営で、それ以外を指定管理とする方式については、学芸部門を行政主体で運営が可能であるメリットがある。しかし、それ以外を指定管理者とすることについては、①の指定管理とする場合と同じデメリットがある。

次に、③行政直営＋委託管理については、行政が主体で運営可能であり、新規建設、且つ、複合施設であることから生じる想定外の事例に、直接的に判断・対応することが出来る。また、指定管理期間の最終年度に、次期の指定管理を受託出来るかわからないことから生じる、事業の停滞等を避けることが出来るという一面も持っている。

更に、指定管理者制度が持つデメリットとは逆で、「行政側に運営のノウハウが残る」、「指定管理料としての算定に比較すれば、行政直営で予算を組んだ方が、時間的な問題や他団体との調整が行える等の理由により、精度の高い予算を編成することが出来る」、「運営経費の実績値も取得することが可能であり、将来に運営形態を変更しようとした場合にも対応が可能である」等のメリットがあると考えている。

④全くの直営については、全て職員で管理運営をまかなうことになるので、「職員が大量に必要なことになる」ことや「職員側に専門性が求められる」等の問題があり、現実的で無いと考えている。

以上の検証から、当面は、③行政直営＋委託管理での運営を選択し、ある程度の運営実績を残してノウハウを積んでから、再度、指定管理者制度の活用も含め検討したいと考えている。以上、このような方向性で事業を進めてまいりたいと考えている。

#### 《報告第3号に対する主な質疑》

委員：このホールの使用方法について、また委託が部門別の複数社とあるが、どういうところを委託するのか教えほしい。

秋山生涯学習課長：音楽コンサートの使用も可能であり、イスは可動式である。管理についての委託となるので、例えば、空調の保守点検やエレベーター、照明の保守点検等についてそれぞれ別の会社に委託することになる。

委員：このビルの完成はいつ頃を予定しているのか。

秋山生涯学習課長：事業計画期間は平成27年3月末の予定。ビル自体の完成予定は、平成2

6年12月頃の予定である。

委員：ビル1階、2階の用途の予定は。

秋山生涯学習課長：1,2階は元々の所有者の権利となり、テナントが入ることになると思われる。主に、商店等が入るものと思われ、6階以上はマンションとなる。

委員：現在のJR駅から京成駅に行く道については、完成後は中央を通るように変わるのか。

秋山生涯学習課長：現在の道は工事に伴い間もなく閉鎖となり、ビル完成後は、ビルの中を歩いて京成側に抜けられるようになる。ペDESTリアンデッキ、歩行者専用道で接続することになる。

委員：想定外のトラブルとはどのようなことが考えられか。

秋山生涯学習課長：具体的なものはないが、様々な団体が入るビルで最初から一括して任せることの心配はある。この様な区分所有の中で、市の施設を整備し事業を行った経験はこれまでにはないので、何が起きるのか想定できないところである。

委員：平面図で、3階の店舗については市の管理ではないのか。

秋山生涯学習課長：3階はホール及びそれに関連する部分のみが市の管理となる。

#### 4. 委員長閉会宣言